

平成 2 2 年度 実施事業	事務事業名 放課後子ども教室推進事業
-------------------	---------------------------

区分	番号	名 称
章	1	やさしさと共生するまち
節	1	安心して子どもを生み育てられるまちをつくる
施策	1	子育ての不安と負担の軽減
小分類	3	子育て環境の整備
主要な施策	5	児童館、放課後児童クラブなどの充実
事務事業番号	008	事務事業コード 11135008 事業開始年度 平成 2 0 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	放課後子ども教室推進事業費
------	------	------------	---------------

部 名	教育部	グループ名	社会教育 G
-----	-----	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #ffffcc;">（事務事業の実施目的を具体的に記載してください）</p> <p>小学校の児童に放課後、安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の参画を得て、様々な体験活動や交流活動の取り組みを推進する為。</p>
手段（事業の内容・活動）	<p style="background-color: #ffffcc;">（目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください）</p> <p>学校の空き教室や体育館を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の参画を得て様々な体験活動や交流活動などの取り組みを推進し、放課後児童クラブと連携した事業展開を図る。現在は、登別市立鷺別小学校に在籍する生徒を対象に、鷺別地区放課後子ども教室を実施しており、管理運営については、鷺別地区放課後子ども教室実行委員会へ委託している。 また、平成 2 3 年度は夏休み以降に幌別東小学校において放課後子ども教室を実施する。</p> <p><主な活動内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教室内での活動：宿題、カルタ、羽子板、工作、読み聞かせ、自分たちで考えた遊びなど。 ・ 体育館での活動：バドミントン、大なわとび、ドッジボールなど。 ・ 行事：四季を感じる行事や児童クラブとの合同行事など。 (もちつき、凧揚げ、流しそうめん、クリスマス会など)
成果	<p style="background-color: #ffffcc;">（事務事業の実施成果を具体的に記載してください）</p> <p>放課後に子ども達が安心して過ごすことのできる居場所を充実させるとともに、学年を超えた集団活動を通して思いやりの心を学ぶ。</p>
根拠法令等	<p style="background-color: #ffffcc;">（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください）</p> <p>登別市放課後子どもプラン運営委員会設置要綱</p>

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	開設数	件	目標値	1	2	3	3	3
			実績値	1				
	登録者数	人	目標値	100	150	200	200	200
			実績値	124				

事業費の推移

区 分			単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称 放課後子ども教室推進事業費補助金	千円	600	3,255	2,034	2,034	2,034	6,102
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	1,625	6,762	1,136	1,136	1,136	3,408
合 計				2,225	10,017	3,170	3,170	3,170	9,510
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	830	1,704			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		830	1,704			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 近年、不審者や犯罪などが増加している中、地域による児童生徒の安全・安心な居場所づくりを進めていくモデルケースとして、市が主体的に実施していくべきと考える。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 定員を超える登録が生徒間においても愛称である「ひなわしメート」が定着している。また、高学年が低学年を見るなどの姿勢も自然と生まれ、随時大人と接する機会を持つことで、健全育成にもつながっている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 事業が定着してきており、今後も地域の方の参画を得て、学校では学べないような学習活動を推進しながら、放課後における子どもの居場所を確保していく。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 委託料の大半が安全管理員の報償費であり、登録数の増加に伴い、生徒の安全面を考慮すると、経費の削減は難しい。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	事業の性質上定員を設けることは好ましくないが、今後さらなる登録増が見込まれるため、安全管理体制だけではなく、スペース上の問題を視野にいれて対策を検討する時期が迫っている。
-----------	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）